



伊丹ことばあそび大会

“回文”の世界

～動物の名が入った回文～

わにの庭



日本人は昔から身近な“ことば”を使って、色々な“あそび”をしてきました。

それら「ことばあそび」が今でも私たちを楽しませてくれるのは、日本語の特徴をうまく使った面白さがあるからです。

ラスタホールでは、「ことばあそび」を実際に作り、さらにその歴史を学ぶ「伊丹ことばあそび大会」を開催します。当日は小野恭靖先生による公開講座もございます。言葉を使った脳トレにぜひお越しください。

●日 時：令和4年10月8日(土)14:00
(受付開始・開場は13:30)

- 内 容：一部 公開講座“鷹(たか)は博多(はかた)”
ー動物の名が入った“回文”を作ってみよう！ー
二部 入選作の発表および選評、表彰など
- 場 所：伊丹市立生涯学習センター(ラスタホール) 2階 多目的ホール
(〒664-0865 伊丹市南野2-3-25)
- 料 金：入場無料 <全席自由・先着順>
- 講 師：大阪教育大学 教授 小野 恭靖 (おの みつやす)

今年のテーマは「動物の名が入った回文」

「回文」とは、上から読んでも下から読んでも意味の通った同じ読みをすることはのことです。伊丹が酒造りで栄えた江戸時代の有名な回文に「伊丹の酒今朝呑みたい(いたみのさけけさのみたい)」というものがあります。

今年も子どもから大人まで、たくさんの方がことばあそび作りに挑戦し、作品を応募してくださいました。当日は講師の小野先生よりすぐれた作品の発表・選評をいただき、ことばあそびの面白さや奥深さについてお話しいたします。



- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、日程変更または中止となる場合がございます。
- ご自宅を出られる前の検温、来館中のマスク着用をお願いします。

- お問合せ：072-781-8877(伊丹市立生涯学習センター ラスタホール)
- 主 催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラスタホール 伊丹市教育委員会